

【令和3年度第3回国分寺市協働事業審査会 審査結果報告】

令和3年10月14日、国分寺市協働事業審査会において提案型協働事業の第二次審査（プレゼンテーション審査）を実施し、下記内容のとおりとなりましたので報告いたします。

1 【第二次審査結果】

事業名称		提案団体	担当課 (協力課)	提案予算額	得点／ 満点中	合否
①	多職種による妊娠期から未就学児期のサポート事業	ゆいぽっこ ～地域につなげる サポーター‘S～	健康推進課	1,673,400 円	138 点 ／168 点	合格 (条件付)
②	国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」(自慢できる源流のまちへ) 開講 事業	NPO まちづくり サポート国分寺	緑と建築課	680,500 円	140 点 ／168 点	合格 (条件付)

2 【得点内訳】

審査項目		① ゆいぽっこ	② まちづくりサポート 国分寺
		得点	得点
1	事業の目的	23	21
2	独創性・先駆性	21	16
3	実現可能性	18	21
4	役割分担	19	20
5	協働による効果	20	21
6	費用の妥当性	16	20
7	事業遂行能力	21	21
合計得点		138	140
合格基準点		126 点	
合否判定		合格 (条件付)	合格 (条件付)
採択・不採択の判定		採択 (条件付)	採択 (条件付)
審査委員数		6 人	6 人

※条件については、下記に詳しい記載があります。

【審査項目・審査基準について】

審査項目を判断基準に照らして提案書類の審査を実施。合格点は以下のとおり

$$\begin{aligned} \text{合格点} &\geq \text{参加委員人数} \times \text{審査7項目} \times 3 \text{点} \\ &\geq 6 \text{人} \times \text{審査7項目} \times 3 \text{点} \\ &\geq 126 \text{点} \end{aligned}$$

※満点は6人×7項目×4点＝168点

<審査項目>

審 査 項 目		内 容
1	事業の目的	市民や地域のニーズ, 社会問題や地域課題等を踏まえたものであるか。また, 市が関わる必要性が認められるか。
2	独創性・先駆性	提案は独創的でかつ先駆性があり, 今後の協働事業のモデルとなり得るか。
3	実現可能性	実施体制, 実施方法やスケジュールが合理的で, 実現可能性は高いか。
4	役割分担	団体と市との役割分担は明確かつ妥当か。
5	協働による効果	協働することで質の高いサービスが提供でき, また, 相乗効果・波及効果が期待できるか。
6	費用の妥当性	提案内容を実現するための妥当な経費見積りとなっているか。
7	事業遂行能力	団体には事業遂行上の問題を解決していくための専門性及び経験が十分にあり, また市と一緒に事業を検討し練り上げていく能力があると認められるか。

<判断基準>

4点	評価できる
3点	どちらかといえ ば評価できる
2点	どちらかといえ ば評価できない
1点	あまり評価できない

3【国分寺市協働事業審査会委員】

(敬称略)

委員種別	氏 名	職 業 な ど
1号委員	林 大樹	国立大学法人 一橋大学 名誉教授
同 上	島岡 未来子	早稲田大学 研究戦略センター 教授 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーションスクール 教授
同 上	田代 美香	特定非営利活動法人 ぐらすかわさき副理事長
2号委員	藤原 大	政策部長
3号委員	志村 国光	総務部長
4号委員	小川 恵一郎	市民生活部長

<採択事業の付帯意見・採択条件>

審査①多職種による妊娠期から未就学児期のサポート事業

令和2年度からの継続事業であり、コロナ禍でありながら市の子育て事業に貢献いただいている、大変意義のある事業です。事業の目的の評価は高く、全体の点数では合格の基準にも達しています。

また、オンライントークルームについては、出かけることが困難な時期においても専門職と身近に相談ができる意欲的な取り組みと評価いたします。

一方、本事業は今年度より実施されているため、プレゼンテーションにおいて今年度の実施状況について、周知の遅れなどの理由により相談件数が思いのほか少ないとの説明がありました。このため、今年度の実施状況を改めて分析・検証し、より効果的な相談業務が行えるよう時間及び回数等の見直しが必要と思われます。

また、新規事業については、実績が無い中での計上であるため、まずは背伸びをしない現実的なところから始めていただき、次年度へ繋げていただきたいと思います。

新規提案型協働事業の予算限度額は、募集要項に記載のとおり、最大で200万円となっており、市は限られた財源の中で協働の取り組みを行う必要があります。

このため、審査会より次の条件を付けての採択とします。

採択条件：事業費の削減

- ・現在実施している事業の実績を踏まえて、曜日や時間の分析や精査を行った上で、実施日や時間の再設定、規模の見直しを行うこと。
- ・既に活用されているメールやSNSなど電話以外の手段のさらなる活用などに取り組むこと。

- ・修正した提案事業予算額が、他の提案型協働事業の予算額と合わせ市の予算限度額内であること。

以上の点を踏まえ、担当課と協議の上、事業費の削減を行い、結果を反映した、提案書類の様式1号から第3号までを審査会事務局（協働コミュニティ課）へご提出願います。

審査②国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」（自慢できる源流のまちへ）開講 事業

協働という形で行うことが適した事業であり、長期的な視点をもって取り組んでいただきたい内容です。

しかし、市は限られた財源の中で協働の取り組みを行うため、今回の提案が初年度であり、今後も継続的に事業を行っていただきたいことから、審査会より次の条件を付けての採択とします。

採択条件：事業費の見直し

- ・既に活用されている既存の資料の活用等の教本についての見直しや、事業対象の範囲や人数等の段階的な展開の検討などを行い、事業費の削減に努めること。

以上の点を踏まえ、担当課と協議の上、事業費の再精査を行い、結果を反映した、提案書類の様式1号から第3号までを審査会事務局（協働コミュニティ課）へご提出願います。